

## ライフタイムにおける活力形成による健康な時間の創造～福奏プロジェクト～

福岡大学研究ブランディング事業  
研究統括責任者 檜垣 靖樹

平成30年度の外部評価（平成31年2～3月実施）において、事業全体の総合所見として、「研究・事業が活発に行われており、福岡大学のブランド化に重要な役割を果たしている」、「積極的にプロジェクト内容や研究成果などを公表しアウトソーシングも行っており評価できる」、「交流・広報活動を積極的に取り組まれた点がすばらしい」など、過大な評価を頂きました。また、次の展開として、「研究成果（シーズ）の洗練化と社会実装」、さらに「企業の健康経営の一貫として普及させる」、「民間に移行していかかに持続させるか」、「本研究を通じて、地元で雇用を生み出すデータ利用活用モデルを創出すること」など、貴重なコメントをいただき、令和元年5月23日に開催した、第7回研究ブランディング推進会議にて、外部評価に対する自己点検及び令和元年度の研究実施計画を立案しました。

令和元年度に実施した事業の総括として、特に社会実装に力を入れた事項を記すとともに、本プロジェクトにご協力いただきました関係機関各位に深謝申し上げる次第です。

尚、研究チームの成果報告書は、①子どもといる生活の研究チーム、②学校適応・活力ある人間形成の研究チーム、③社会活動支援・活力ある高齢者の研究チームごとに作成しております。今後も、チーム一丸となって福岡大学の研究ブランディングに貢献すべく尽力して参りますので、どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

### <福奏プロジェクトの社会実装に係る事項について>

- 1) 嘉麻市、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ、福岡大学基盤研究機関身体活動研究所の3者による連携・協力に関する協定を締結（2019年8月30日）

嘉麻市の観光資源を活用したヘルスツーリズム商品を開発し、嘉麻市への観光客増加に繋げる計画です。福奏プロジェクトの「中高齢期の社会活動支援・活力ある高齢者研究」チームが展開するヘルスツーリズムのエビデンスと福岡銀行のネットワークを融合し、嘉麻市で展開する社会実装事例です。今後、健康寿命の延伸と地域社会の活性化・雇用創出をキーワードに、展開していく予定です。

### 新聞記事掲載、テレビ放映等

1. 西日本新聞 2019年8月31日
2. 日本経済新聞 地方経済面 九州 2019年8月31日
3. ふくおか経済Web 2019年9月10日発行
4. 株式会社TVQ九州放送（テレQ） 2019年8月30日

## 2) 福岡市教育センターとの連携

福岡市教育センター研修・研究課との連携により、福岡市内全小学校に福奏プロジェクトで実施する、「新体力テスト測定支援」のご案内を配布していただきました。令和元年度は、8つの小学校（2,425名）にご協力いただきました。文部科学省の評価に加え、本プロジェクトのエビデンスを加え、新しい評価手法（案）として、生まれ月の要因を調整した新体力テスト評価尺度を作成したところです。今後も、継続的に連携し、エビデンスの構築及び学校教育現場への情報発信に努めたいと考えています。

## 3) 福岡県保健医療介護部との連携

平成30年度に続いて、ふくおか健康づくり県民運動に参画し、福奏プロジェクトのエビデンスの社会発信を積極的に行いました。福奏プロジェクト③初代チームリーダーの田中宏暁名誉教授が提唱したスロージョギングを用いた連携事業です。令和元年8月7日には、九州大学医学部百年講堂にて、「ふくおか健康づくり県民運動セミナー」が開催され、「スロージョギングの効果と実演」を行いました。また、令和2年1月31日、ナースプラザ福岡において「食と健康推進フォーラム」が開催され、県民の健康づくり推進に福岡大学のエビデンスを紹介しました。今後、福岡県内でスロージョギングの普及がさらに進む計画です。福岡県との連携を深め、エビデンスの社会実装を加速させます。

ふくおか健康づくり県民運動ホームページ

<https://www.kenko.pref.fukuoka.lg.jp/>

以上